

# 学び合い

# やり抜く

# 栄中生

# 10月号<sup>②</sup>

平成25年度版

保護者・地域に支えられた栄中教育の情報誌

校長 橋本 忠

## あたたかい感動のある素晴らしい栄中祭でした。

11日(金)に生涯学習センターで栄中祭が行われました。本当に素晴らしい歌声を聞かせてもらい、とても感動しました。一人一人が自分の役割をきちんと果たして一生懸命に「栄中祭」を創りあげたことが本当に価値のあることだと思います。学年が上がるにつれ素晴らしくなる学級合唱、前期生徒会役員の方々の心こもったナレーションに続いての迫力ある全員合唱は聴く人の心に温かなものを残してくれました。鈴木奈緒さんも英語スピーチを多くの方の前でも堂々と披露してくれました。

合唱以外にも一人一人の活躍がありました。総合文化部は「輝け 届け 僕らのおもい(心)」の迫力のある立派な看板を放課後、一生懸命に作成してくれました。また、合唱祭実行委員も裏方として本当に献身的な活躍でした。こうした生徒全員の努力と前向きな取組が栄中祭を成功につなげてくれ、本当に良い栄中祭となりました。

ご多用中、栄中祭に足を運んでいただいた来賓の皆様、ハハモニーの皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



## 後期101日間がスタートしました。

1年生は中学校生活にも慣れ、生徒会活動や部活動など、2年生を補佐しながら、栄中をもっともっと盛り上げていく立場になります。

2年生は、後輩である1年生の模範となるような行動がとれるように、また、最終学年を見据えて、今の3年生に負けない、栄中のリーダーとしての力を高めて行く時期となります。

3年生は、いよいよ中学校生活の最終段階に入っていきます。自分の進路を自分の責任で決めることは大変苦しいことです。進路選択は人生で初めての大きな決断になりますが、自信を持って決定し、その希望が叶うように全力で努力してくれることを期待しています。また、最上級生として、1、2年生の最高のお手本となって欲しいと思います。そして、すばらしい卒業式を迎えられるよう願っています。

それぞれの学年の生徒一人一人が、一日一日を大切に過ごし、「学び合い やり抜く 栄中生」という目標の達成に向けて精一杯努力し、3月には有終の美を飾ることができるように期待しています。

## 「学び合い やり抜く 栄中生」を目指して

10月15日(火)後期始業式での話

……さて、今日から平成25年度後期101日間の授業が始まります。そして、第4ステージに入りますが、これまでの前期のみなさんの頑張りを生かして、さらに「学び合い やり抜く 栄中生」の目標に向かって何が必要かと考えました。第4ステージの目標にもありますが、ここから力を入れていくべきことは「学習」ではないかと思っています。学校教育目標と照らし合わせてみると「学び合う」ためには、みなさんが授業の中で自分の意見を述べ、意見をお互いに交換し合うことが必要ではないかと思っています。自分の意見を述べたり、表現するのが得意な人もいれば、苦手な人もいるでしょう。今の自分から比べてどのくらい進歩できるか、また、学級のムードがどのくらい高まるのかが大切なポイントです。ぜひ、チャレンジしてみてください。

次に学習で「やり抜く」ためには、難しい授業内容でも諦めないで授業に参加することや家庭での宿題などを忘れずにやりきることが必要かと思っています。これも中には苦手な人もいるでしょう。もちろん自分自身で苦手さや困難さに立ち向かっていくことが必要です。しかし、みんなの周りにはみんなを支えてくれる仲間や先生方がいます。困ったときには困ったと言える勇気も必要ではないかと思っています。ぜひ、チャレンジしてみてください。……

